

とまちゃん通信

角ともこ県議会レポート

2011.3.March Vol.16-2

努力し続ける人たちに 光を当てる政治を

今期最後となる定例議会が2月24日から3月4日まで開かれ、いつものように今回も一問一答形式の質問に立ちました。

私(角)は地域で一生懸命頑張る人たちに光が当たるような仕組みづくりを目指して、これは定期的な議会だよりで報告しますが、その一部概要を報告します。

♥新しい公共支援

「新しい公共支援事業」の考えを知事に聞く。

知事 今までは民間の経済活動があり、それでできない部分を国、県、市町村といった公共部門が担うといったような二分法のような世界であったが、その間の領域を

いろいろ活用することが必要だという認識は非常に高まっている。その間の領域で活動をするNPOや企業の社会貢献的な活動を強化することによって、豊かな社会ができるように努力していきたい。

♥努力する企業を応援

子育て応援企業(こっころカンパニー)認定を建設工事以外の入札の参加資格審査の加点項目に取り入れることはされているのか。

健康福祉部長 物品調達や、

それぞれの請負や業務委託の分野でも、入札参加者選定に当たって、「こっころカンパニー」について配慮するようにいろいろ検討を続けてきた。その結果、今年の1月から、管財課が所管する庁舎の清掃、警備等の業務委託について、入札参加資格審査での加点が実施されている。また、会計課が所管する物品の売買、借入れ等に係る入札参加資格者名簿に「こっころカンパニー」の認定状況の有無の記載が追加をされている。

江端貴子衆議院議員とトークショー



「こっころの大切」

〜福祉と女性の視点から〜

3月6日、くにびきメッセで後援会の交流会があり、その中で衆議院議員の江端貴子さんを迎え、川井市議会議員の進行で、トークショーを行いました。

私(角ともこ)と江端議員で議員になるきっかけや、現在の取り組みなどについて、約200人の皆さんを前にお話をしました。殊に、江端議員からは、議員となるきっかけとなった介護の問題に、介護サービスの充実を財源も含めて考ええていくことや、働く女性が増える中、短時間の正規雇用に向けた取り組みの必要性が話されました。

